

# 主の晩餐の祈り

2020年4月1日（洗足木曜日）19:00～

## ◆祈りへの備え（沈黙）

## ◆祈りへの招き

司式 暗闇の深まるところに、わたしたちは集まってきました。受難節の道行きは、わたしたちをここに至らせました。わたしたちの師であり主である主イエスが、わたしたちに先だって備えていてくださいました。主イエスは、わたしたちに模範を示してくださいました。そして、まったく新しい掟をお与えくださいました。主イエスがわたしたちを愛してくださったように、互いに愛し合うこと。わたしたちが互いを愛するとき、すべての人は、わたしたちがイエスの弟子であるということを知るようになるのです。

## ◆讚美 430「とびらの外に」

## ◆罪の告白への呼びかけ

司式 わたしたちの心は、誠実であろうとすることと裏切ろうとする思いの狭間で葛藤しています。わたしたちは弱いのです、けれども、あの方はたしかなお方です。あのお方が、わたしたちを罪と死から解き放ってくださいました。イエス・キリストの揺るぎない愛を信じて、わたしたちは、罪の告白をいたしましょう。

## ◆罪の告白の祈り

司式 主イエス・キリストよ、あなたさまがわたしどもの心をご存知でいてくださるとは、何とすばらしいことでしょうか。

会衆 いつもあなたさまがわたしどもを愛してくださいませんか。あなたさまは、最後までわたしどもを愛してくださいました。

司式 わたしどもは、あなたさまを知らないと申しました。

会衆 わたしどもは、互いに仕え合うようにとの使命をも拒みました。

司式 わたしどもはあなたさまに背を向けました。

会衆 わたしどもは、互いに愛し合うようにとのあなたさまの掟にも背きました。

司式 あなたさまの恵みの聖霊を、わたしどもに注ぎ込んでください。

会衆 わたしどもに、あなたさまを愛し、誠実に仕えることを教えてください。互いに愛し、仕え合うことを教えてください。わたしどものために示してくださいましたあなたさまの模範によって。聖なる御名によって祈ります。アーメン

## ◆赦しの宣言

司式 今や、主イエス・キリストは、栄光をお受けになりました。そして、神も、イエスによって栄光をお受けになりました。今や、愛による贖いの御業は、為し遂げられています。イエス・キリストにあって、わたしたちは、赦されているのです。

会衆 神に感謝。

## ◆祈り

司式 愛の神。受難週のとくにあって、わたしどもは、主イエスが弟子たちと共に過ごされた夕べに感謝いたします。注目を集めた入城行進と、衆人環視の茶番劇との狭間に、この親密な交わりの時が与えられました。今、わたしどもは、十分な理解に至っておらない者であります、それでもなお、主イエスの模範に倣うことを願います。主イエスはお約束くださいました、わたしどもが主の模範を知り、そのようにするならば、わたしどもは祝福していただける、と。わたしどもをお助けください。そして、お教えくださったことをすべて知り、行う者とならせてください。わたしどもは、背を向け、否むことがあっても、なお、祝福を求めてまいります。わたしどもがそのことを十分に知るようになるまで。わたしどもは、あなたさまが祝福してくださいなければ、生きることができないのです。

一同 アーメン

## ◆讚美 50「みことばもて 主よ」

## ◆聖霊の照らしを求める祈り

司式 恵み深い神、わたしどもをあなたさまの聖なる御言葉によって養ってください。

わたしどもには、十分に理解していないことばかりです。

けれども、わたしどもは、それでも、あなたさまを尋ね求めます。

尋ね求めるところで、わたしどもは、見出すからです。

一同 アーメン

## ◆聖書朗読

### マタイによる福音書26章17~34節

<sup>17</sup>除酵祭の第一日に、弟子たちがイエスのところに来て、「どこに、過越の食事をなさる用意をいたしましょうか」と言った。<sup>18</sup>イエスは言われた。

「都のあの人のところに行ってください。『先生が、「わたしの時が近づいた。お宅で弟子たちと一緒に過越の食事をします。』<sup>19</sup>弟子たちは、イエスに命じられたとおりにして、過越の食事を準備した。<sup>20</sup>夕方になると、イエスは十二人と一緒に食事の席に着かれた。<sup>21</sup>一同が食事をしているとき、イエスは言われた。

「はっきり言うておくが、あなたがたのうち一人がわたしを裏切ろうとしている。」<sup>22</sup>弟子たちは非常に心を痛めて、「主よ、まさかわたしのことでは」と代わる代わる言い始めた。<sup>23</sup>イエスはお答えになった。「わたしと一緒に手で鉢に食べ物を浸した者が、わたしを裏切る。<sup>24</sup>人の子は、聖書に書いてあるとおりに、去って行く。だが、人の子を裏切るその者は不幸だ。生まれなかった方が、その者のためによかった。」<sup>25</sup>イエスを裏切ろうとしていたユダが口をはさんで、「先生、まさかわたしのことでは」と言うと、イエスは言われた。

「それはあなたの言ったことだ。」  
<sup>26</sup>一同が食事をしているとき、イエスはパンを取り、賛美の祈りを唱えて、それを裂き、弟子たちに与えながら言われた。「取って食べなさい。これはわたしの体である。」<sup>27</sup>また、杯を取り、感謝の祈りを唱え、彼らに渡して言われた。「皆、この杯から飲みなさい。<sup>28</sup>これは、罪が赦されるように、多くの人のために流されるわたしの血、契約の血である。<sup>29</sup>言うておくが、わたしの父の国であなたがたと共に新たに飲むその日まで、今後ぶどうの実から作ったものを飲むことは決してあるまい。」<sup>30</sup>一同は賛美の歌をうたってから、オリーブ

山へ出かけた。

<sup>31</sup>そのとき、イエスは弟子たちに言われた。「今夜、あなたがたは皆わたしにつまずく。『わたしは羊飼いを打つ。すると、羊の群れは散ってしまう』と書いてあるからだ。<sup>32</sup>しかし、わたしは復活した後、あなたがたより先にガリラヤへ行く。」<sup>33</sup>するとペトロが、「たとえ、みんながあなたにつまずいても、わたしは決してつまずきません」と言った。<sup>34</sup>イエスは言われた。「はっきり言うておく。あなたは今夜、鶏が鳴く前に、三度わたしのことを知らないと言うだろう。」<sup>35</sup>ペトロは、「たとえ、御一緒に死なねばならなくなっても、あなたのことを知らないなどは決して申しません」と言った。弟子たちも皆、同じように言った。

<sup>36</sup>それから、イエスは弟子たちと一緒にゲツセマネという所に来て、「わたしが向こうへ行っている間、ここに座っていなさい」と言われた。  
<sup>37</sup>ペトロおよびゼベダイの子二人を伴われたが、そのとき、悲しみもだえ始められた。<sup>38</sup>そして、彼らに言われた。「わたしは死ぬばかりに悲しい。ここを離れず、わたしと共に目を覚ましていなさい。」<sup>39</sup>少し進んで行って、うつ伏せになり、祈って言われた。「父よ、できることなら、この杯をわたしから過ぎ去らせてください。しかし、わたしの願いどおりではなく、御心のままに。」<sup>40</sup>それから、弟子たちのところへ戻って御覧になると、彼らは眠っていたので、ペトロに言われた。「あなたがたはこのように、わずか一時もわたしと共に目を覚ましていられなかったのか。<sup>41</sup>誘惑に陥らぬよう、目を覚まして祈っていなさい。心は燃えても、肉体は弱い。」<sup>42</sup>更に、二度目に向こうへ行って祈られた。「父よ、わたしが飲まないかぎりこの杯が過ぎ去らないのであれば、あなたの御心が行われますように。」<sup>43</sup>再び戻って御覧になると、弟子たちは眠っていた。ひどく眠かったのである。<sup>44</sup>そこで、彼らを離れ、また向こうへ行って、三度目も同じ言葉で祈られた。<sup>45</sup>それから、弟子たちのところに戻って来て言われた。「あなたがたはまだ眠っている。休んでいる。時が近づいた。人の子は罪人たちの手に引き渡される。<sup>46</sup>立て、行こう。見よ、わたしを裏切る者が来た。」

◆黙想

◆讚美 487「イエス、イエス」

## ◆洗足の祈り

司式 愛する神。

かつて、主イエスがたらいに足を洗うための水を汲んでこられたように、わたしどもは、御前に、洗いのための水をお持ちします。この、洗いのための水を祝福してください。また、あなたさまに仕える者の足をも祝福してください。汚れを洗い落とし、人生のゆがみを洗い去ってください。

わたしどもは祈ります、わたしどもがキリストの道を新しく歩むことができますように、と。まことの謙りをもって、わたしどもは、自分の人生を、あなたさまに仕えることへと従わせます。

わたしども皆をお助けください、あなたさまの模範によって、わたしどもが、仕えられることではなく、愛のために仕えることの意味を深く理解することができますように。

キリストにあって祈ります。

会衆 アーメン

## ◆とりなしの祈り

司式 優しく、思いやってくださる神。

主イエスは、死に渡される前の晩、弟子たちのために食事の席をご用意くださいました。弟子たちは、まもなく、呑み、背を向け、散り散りになろうとしていたのです。皆は、ひとつところに集まりました。弟子たちは、履き物を脱ぎ、師であり主であるお方のいらっしやるところに、座りました。主イエスは、弟子たちの足を一つひとつ、洗われました。

会衆 【沈黙】

司式 わたしどもは、厳しい労働のために足が疲れ、汚れてしまっている人々のために祈ります。彼らの背中には気に病むことや悩み事で丸く曲がってしまっています。病気や、犯罪や、嘆き悲しみによって、低く沈んでいます。わたしどもは祈ります。

わたしどもの体と魂の疲れを、洗い去ってください。わたしどもの人生、人間関係の中で破れたところを、やさしく、あなたさまのいやしの御手のうちに抱いてください。孤立の中にあっても、わたしどもを仲間とし、絶望の中にあっても、わたしどもを希望の源としてください。そうすれば、いつも、死によって終わりを迎えるときにさえも、道を前に行くこ

とができるでしょう。

会衆 【沈黙】

司式 すべてのよき賜物の神。

すべての者を歓迎してくださる食卓を備えてくださり、感謝いたします。わたしどもが誠実であっても、不誠実であっても、また欠けた者であっても、その部屋を整えてくださるからです。

わたしどもは祈ります。

わたしどもが、ますます責任をもって分かち合って生きるようになるとき、飢えた者が皆、食べ物を、またきれいな飲み水を、十分に得ることになりますように。

わたしどもにお教えください、

敵と共に席に着くことを、共同の食事を分かち合い、共通の希望を分かち合うことを。

わたしどもを、この世界のために、まことにあなたさまに仕える者としてください。

わたしどもにお教えください、

この世界のために、あなたさまが愛されたように愛することを。

キリストの御名によって祈ります。

会衆 アーメン

## ◆食卓への招き

司式 友よ、これは主の食卓です。

主が捕らえられた晩から、代々の世代を通して、イエスの弟子たちは、この聖なる食事のための食卓に着くことを続けてきました。あの晩、主がエルサレムでなされたように、いつ、どこにあっても、必ず、キリストは、そこでわたしたちにお会いくださいます。

わたしたちは、この祝宴に入れられているのです、

わたしたちが信仰に満ちているときも、疑いによって心虚しくなっているときも、わたしたちが聖徒らの中で筆頭であっても、悪党の末席にいる者であっても、あるいはどこに位置する者であっても。

裂かれたパンと注がれた杯のうちに、わたしたちは、わたしたちに対するキリストの愛の大きな広がりを思い起こします。

そして、感謝をささげます。

来て、この祝宴を守り、聖徒らのまっつき交わりに加わりましょう。

## ◆感謝聖別禱

司式 主は皆さんと共に。  
会衆 また、あなたと共に。  
司式 心を高く上げなさい。  
会衆 主に向かって心を高く上げます。  
司式 主である神に感謝をささげましょう  
会衆 わたしたちが感謝と讃美をささげることは、  
ふさわしいことです。  
司式 あなたさまは、御子イエスをお遣わしくださり、この世界をいやしてくださいました。  
わたしどもは、御子の謙りのご生涯に従うことを学ぶことができました。  
それゆえ、わたしどもは、あなたさまを賛美して申し上げます。  
会衆 聖なる、聖なる、聖なる主よ。  
力ある全能の神、  
天と地は 主の栄光に満ちています。  
いと高きところにホサナ。  
主の御名によって来られる方に祝福あれ。  
いと高きところにホサナ。  
司式 主イエスは、わたしたちのために死んでくださった前の晩、ご自分の友と共に食事をなさいました。  
主イエスはパンを取り、感謝の祈りをささげて、それを割き、彼らに与えて言われました。「取って、食べなさい。これは、あなたがたのために与えられるわたしの体である。わたしの記念としてこのように行いなさい。」  
司式 食事の後、主イエスは杯を取り、感謝の祈りをささげると、それを渡して、言われました。「この杯は、罪が赦されるように流される、わたしの血による新しい契約である。わたしの記念としてこのように行いなさい。」  
会衆 キリストは死なれました。  
キリストはよみがえられました。  
キリストは栄光のうちに来られます。  
司式 恵み深い神、  
あなたさまの聖霊を、わたしどもの上に注ぎだしてください、このパンとブドウ汁の上に。  
わたしどもが割くパンと、わたしどもが祝福する杯が、わたしどもと、キリストの御体と御血との交わりになりますように。  
キリストの苦しみにおいて、わたしどもをキリストと一つにしてください。  
そうすれば、わたしどもは、キリストの栄光をも知るでしょう。  
また、わたしどもがあなたさまの義をあらわすように強めてください、すべての者が完全に、再び、終わりなき御国におおるときまで。  
会衆 アーメン

## ◆陪餐

### ◆陪餐後の祈り

司式 主よ、われらの神、  
わたしどもはこの食卓から立ち上がります。  
わたしども自身の価値を超える愛を知ったからです。わたしどもを、あなたさまの食卓に着かせてくださったことに感謝いたします、わたしどもに命のパンを頒けてくださいました、差し出してくださいました、わたしどものような者にさえ、救いの杯を。謙遜と希望のうちに、わたしどもは今、この晩から、出で行きます、あなたさまの約束の日に向かって。キリストにあつて祈ります。

会衆 アーメン。

### ◆主の祈り

司式 救い主イエス・キリストの教えに従って、主の祈りを唱えましょう。  
一同 天にまします我らの父よ、  
ねがわくはみ名をあげめさせたまえ。  
み国を来たせたまえ。  
み心の天になるごとく、地にもなさせたまえ。  
我らの日用の糧を今日も与えたまえ。  
我らに罪を犯す者を我らがゆるすごとく、  
我らの罪をもゆるしたまえ。  
我らをこころみにあわせず、  
悪より救い出したまえ。  
国と力と栄とは限りなく  
なんじのものなればなり。アーメン

### ◆沈黙（祈り）

### ◆讃美 503「ひかりにいます主」

### ◆派遣

司式 主イエスは、わたしたちのために模範をお示しになりました。  
他者に仕えるために、  
イエスがわたしたちに仕えてくださったように。  
また、互いに愛し合うために、イエスがわたしたちを愛してくださったように。  
行って、同じようにしなさい。  
そうすれば、人は皆、言うでしょう、  
わたしたちが主イエスの弟子である、と。  
主があなたを、試みのときも、喜びのときも、  
祝福してくださいますように。

一同 アーメン

### ◆退堂